

2020
6/20
(土)

隅田川の東岸、清澄・佐賀・永代付近に、江戸時代初めの寛永18年(1641)材木置場が日本橋・神田方面から移転してきました。深川が「江戸の蔵の町」として成長するはじまりでした。それから60年後、材木置場は東の入り江を埋め立てて移転し深川木場ができました(今の木場公園周辺)。その時、元の材木置き場(元木場)の中にあつた堀はどうなったのでしょうか。その痕跡を尋ねながら江東の歴史をつむいでみましょう。

橋と川が織りなす江東の歴史
深川最初の木場・元木場の橋と堀
江東が「江戸の蔵の町」へと成長した秘密を探る!



橋と川が織りなす江東の歴史 深川最初の木場・元木場の橋と堀

参加費 **¥500** 郷土史研究者 久染健夫 定員**20名** 中学生以上

集合時間:6月20日(土)10:00 集合場所:都営大江戸線・半蔵門線 清澄白河駅A3出口階段下付近

【おもなコース】 海辺橋～仙台堀～清澄橋・亀堀公園～大島川西支川～中之堀・中之橋跡～佐賀稲荷～油堀・下之橋跡～深川正米市場跡～永代橋～渋沢栄一邸跡～白木屋蔵跡～深川公園～富岡八幡宮 解散

申込先:NPO法人本所深川事務局 メール:info@honfuka.org ファックス:03-6458-6014

- ①お名前 ②住所 ③電話番号 ④年齢の4点を(保険加入手続きに使用)ご記入頂き、お申し込みください。
*記載いただきました内容は保険加入に必要となります。個人情報保護法に基づき、本イベント以外には使用致しません。
* **申込み締切 6月16日(火)** *満員になり次第、受付終了とさせていただきます。